

50周年記念運動会

校長 畠山 真

さわやかな五月晴れから、紫陽花が雨にぬれて美しく輝く六月に入ります。

校長室の前の花壇のカシワバアジサイが、細長い白い花を咲かせ、1年生がまいた朝顔の種も、芽が出て大きくなってきました。実は校長室の胡蝶蘭(コチョウラン)が、昨年の春に花びらを落とした後、冬を越して咲き出し今もまだ咲いています。胡蝶蘭は、冬を越すのが難しく、室内温度が5度を下回るとほとんど枯れ、今までも翌年に花を咲かすことができませんでした。それでも、今年は室内温度に気をつけ、花を咲かすことができました。胡蝶蘭は、とても長く咲いている花で、一週間に一度の霧吹きによる水やりと活力剤を注入して、花を咲かすように努力してきました。努力が実ったのか分かりませんが二月の終わりから一週間に一輪ずつ花を咲かせ、今でも咲き続けています。子どもたちも今、花や野菜を育てていますが、日光に当て栄養と水を適度に与えることで大きく成長していくことでしょう。熱心に世話をすることで必ず成果になって表れてくると思います。

さて、5月26日に50周年を記念した運動会が終わりました。天候にも恵まれ、暑い中ではありましたが、50周年にふさわしい運動会にしようと子どもたちは一生懸命に取り組んでいました。運動会を実施して、まず驚いたのが応援のすばらしさです。毎年、美小の応援はすごいのですが、今年度は今までよりもさらに声がそろっていて迫力があると思いました。練習から熱心に取り組みとても立派な態度でした。応援団長を中心に一人ひとりが責任をもって一生懸命に取り組み、まとまりの良さと力強さを感じました。

各学年の演技や競技もとても熱心に取り組み、1・2年生の「やってみよう」では、小学校初めての運動会で夢中で演技する1年生を2年生がリードして、とてもかわいらしく伸び伸びとした演技でした。3・4年生は、「旗に想いを」という演技で、「宇宙戦艦ヤマト」の曲に乗った堂々とした演技でした。旗にそれぞれ一人ひとりの想いが込められていました。5・6年生の美小ソーラン「飛翔」は未来へつないでいこうとする高学年の子どもたちの意欲と気持ちがこもっていて、迫力のある演技でした。一人ひとりが曲に乗り、動きも大きくさすが高学年と思いました。特に6年生にとっては最後の運動会で、特別な思い出があったと思います。ソーランは、初めてはっぴを着て踊りましたが、PTAからの贈り物で、演技に花を添えていたようでした。紅白リレーも低学年、高学年とも、どの選手もバトンを上手につなぎ、一生懸命に走っていました。

50周年の記念の運動会は、子どもたち一人ひとりの努力と気持ちがしっかりと表れていて、見る人に感動を与えてくれました。「力を合わせて熱くなれ!みんななかやけ50回目の運動会!」というテーマが実現されていたと思います。

この運動会の成果が、6月9日(土)の「50周年こども集会、記念式典」に繋がっていくと確信しました。